

以下、本文-----

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

## 緑内障患者診療におけるアイモ®24-2plus プログラムと 10-2 プログラム間の測定点閾値に関する研究

### 1. 研究の対象

2021年4月1日から2021年12月31日までの間に、当院の眼科で緑内障患者に対して視野検査を受けられた方。

### 2. 研究目的・方法

目的：

視野検査は緑内障診療に欠かすことのできない重要な検査であり、ある程度以上の視野障害進行例に対しては中心24度内の検査と中心10度内の検査を平行して行う必要があります。しかしながら、2種類の検査を継続的に施行するのは患者さんにとって大きな負担であるため、可能であれば1回の検査で両者を評価できることが望ましいです。今回の研究は中心24度内の検査である24-2plusプログラムによる視野測定結果を直近に検査され、かつ中心10度内の検査である10-2プログラムによる視野検査を施行された方の中で、24-2plusプログラムによる視野検査のみで中心10度内の視野が十分に評価できるかどうかを検討することを目的としています。

方法：

まず緑内障症例を集め、その中で過去に自動静的視野計アイモ®を施行したことがある症例を選択します。その後、信頼性のある 24-2plus プログラムの視野検査を施行した半年以内に 10-2 プログラムで視野検査を施行したことがある症例を選択し、研究を行います。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・試料：24-2plus プログラムおよび 10-2 プログラムでの視野検査等
- ・診療情報等：診断名、年齢、性別、視野検査結果等

### 4. 情報の提供先・提供方法

上記の試料・診療情報等を東海大学医学部附属病院眼科学教室へ電子的配信にて提供します。

### 5. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

### 6. お問い合わせ先

東海大学医学部附属病院 (電話：代表 0463-93-1121 内線：5252)  
研究責任者 眼科 鈴木 康之  
問い合わせ担当者 眼科 継 大器

-----以上